

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3591600170		
法人名	社会福祉法人 健仁会		
事業所名	グループホーム 咲花 (南ユニット)		
所在地	山口県山陽小野田市大字厚狭埴生田503番1		
自己評価作成日	平成24年3月25日	評価結果市町受理日	平成24年10月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成24年4月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「皆に優しく 共に楽しく」地域の中でいつまでも自分らしく生活していける… の理念の基に、その方らしい生活が送られるように支援しています。施設周辺には、大型スーパーや本屋さん、地元の商店街や神社、また桜並木が美しい散歩コースがあり、自然に囲まれた活気のある生活環境になっています。グループホームは施設の4階にあります。朝日や夕旅の見える大きな窓や、ユニットを挟んで広いウッドデッキの中庭があり、天気の良い日は、そこで洗濯物を干したり、日向ぼっこや植木の手入れおど、自然の光や風を感じられ、開放的な空間となっています。地域とのつながりを大切に、自治会に毎月1回、事業所便りを回覧させていただき、事業所の文化祭や餅つき大会に地域の方へご参加の呼びかけをしています。近くの神社のお祭り、納涼祭や秋祭りなどの地域行事への参加、なじみの商店街への買い物、また保育園の夕涼み会や餅つき大会に参加し、ここでは昔なじみの方との交流の場にもなっています。利用者様の「できる力」や「意欲」を大切にし、掃除を一緒にしていただいたり、得意料理を食材の選択から味付けまでしていただいたり、利用者様立ち上げのサークルは、体操会、歩こう会、また昔懐かしの歌の会などがあります。様々な場面で安心・安全に配慮しながらお一人お一人が主役となっていただけるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自治会に毎月事業所だよりの回覧しておられ、事業所主催の文化祭には地域の人が多く参加されています。餅つきでは自治会から臼と杵を借りて行われ、地域の人と交流されています。地域の行事である夏祭りや秋祭り、納涼祭、地元神社の祭りなどに利用者も参加される他、保育園の園児との交流など、地域とのかかわりを深めておられます。利用者同士の語らいの中から自主サークル活動(体操の会、歩こう会、歌の会、生け花の会、お茶の会)が生まれ、利用者自らが声をかけあって参加され、活動を楽しまれています。利用者の日常のリズムを崩さない暮らしを大切にされたうえで、活動できる場面を多く作り、張合いのある活き活きとした暮らしができるように支援しておられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、活き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3591600170		
法人名	社会福祉法人 健仁会		
事業所名	グループホーム 咲花 (北ユニット)		
所在地	山口県山陽小野田市大字厚狭字植生田503番1		
自己評価作成日	平成24年3月25日	評価結果市町受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成24年4月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ケアの4つの柱「横に座る その人を知る 嘘をつかない ゆっくりと穏やかに」を支援の方針とし、接遇研修では挨拶や目線、言葉使いを学び、尊敬を大切に利用者様と日々接しています。月2回の法人基礎研修会や月1回のグループホーム勉強会、また外部研修に参加し、介護の基本やケアの質の向上に向けて取り組んでいます。施設1階には19床の有床診療所があり、体調不良や健康面の不安にはすぐに医療スタッフ応えられるようになっています。診療科目には週1回の整形外科やリハビリ科もあり、利用者様の状態や本人・ご家族のご希望に沿って療法士によるマンツーマンの医療リハビリが日常生活の中で受けられるようになっています。また、週に1回の訪問看護、月に4回の歯科医等による口腔ケアのサービスも受けられ、様々な医療ニーズに対応できるようになっています。また、生活の中で季節を感じていただけるように、梅やバラ、菖蒲や紫陽花などのお花見、中庭でのビアガーデンやスイカ割、おはぎ作りや寒餅作りなど季節や地元の風習に応じた行事を計画しています。お部屋で過ごされる時間が多い方でも、ベッドで横になられたまま外の景色が楽しめるように、ペランダの囲いは透明になっており、春には満開の桜並木が見渡せます。年に3回の家族会や年2回のアンケートを実施、事業所行事への参加、ケアの相談など、ご家族と近い距離で利用者様の生活を支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--	--	--	--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時や会議の時に、皆で理念の唱和を行っている。また、書類にはケアの4つの柱を印字し、名札の裏には理念の紙を入れており、常に意識し日々のケアに活かせるようにしている。	「皆に優しく、共に楽しく」、「地域の中でいつまでもじぶんらしく生活していける」という理念と4つの実践目標を事業所内に掲示し、事業所便りや名札にも掲載して共有している。理念を深めるための研修を実施して、実践につなげていくよう努めている。	
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時や会議の時に、皆で理念の唱和を行っている。また、書類にはケアの4つの柱を印字し、名札の裏には理念の紙を入れており、常に意識し日々のケアに活かせるようにしている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くのスーパーや商店街に買い物に出かけたり夏祭りや秋祭り納涼祭に参加している。また、近くの保育園から夕涼み会や餅つき行事のお誘いがあり園児と一緒に盆踊りに参加したり餅を丸めたりしている。散歩では近所の方と挨拶を交わしたり、時には畑で採れた野菜を下さることもある。	自治会に事業所便りを毎月回覧し、地域の夏祭り、秋祭り、納涼祭、神社の祭りなどに参加している。法人の茶席でボランティア(お抹茶の会)と茶を楽しんだり、保育園児とのふれあい、事業所の文化祭(利用者の作品展示)に地域の人の参加があり、自治会の杵や臼を借りて餅つきをするなど交流している。散歩や買い物時の挨拶、季節の野菜の差し入れなど、地域の一員として日常的に交流している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くのスーパーや商店街に買い物に出かけたり夏祭りや秋祭り納涼祭に参加している。また、近くの保育園から夕涼み会や餅つき行事のお誘いがあり園児と一緒に盆踊りに参加したり餅を丸めたりしている。散歩では近所の方と挨拶を交わしたり、時には畑で採れた野菜を下さることもある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3	南	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて地域の代表者に事例を通して認知症の症状や支援方法を質問にお答えしながらお伝えしている。また、地域行事や事業所の行事の際に、利用者様と関わっていただきご理解をいただいている。		
3	北	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて地域の代表者に事例を通して認知症の症状や支援方法を質問にお答えしながらお伝えしている。また、地域行事や事業所の行事の際に、利用者様と関わっていただきご理解をいただいている。		
4	南	(3) ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	会議でその目的意義を伝え理解してもらっている。自己評価票を全員に配布し、各自記入してもらっている。	評価の目的を説明し、評価の意義を理解して、職員全員で評価に取り組んでいる。各ユニットで話し合い、合同で検討し管理者がまとめている。評価を通してケアの振り返りとし、サービスの質の向上に活かすよう努めている。	
4	北	(3) ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	会議でその目的意義を伝え理解してもらっている。自己評価票を全員に配布し、各自記入してもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	南	(4) ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、自治会長、民生委員、市役所職員、ご家族代表また防災がテーマの時には消防署職員が参加している。状況報告、活動報告を行い意見交換をしている。近くの保育園へのあいさつ回りを勧めて下さり、それを機に交流が持てるようになった。地域の行事のお知らせや火災発生時の避難ルートなどを一緒に考えてもらっている。	家族(1名ずつ交代)、自治会長(2名)、民生委員(2名)、第三者委員、市職員等の出席で2ヶ月に1回開催している。利用者の状況、活動状況、行事等の報告を行い、事業所主催の行事への協力や地域との交流機会の拡大、防災に関する地域との連携等について話し合い、意見をサービス向上に活かしている。	
5	北	(4) ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、自治会長、民生委員、市役所職員、ご家族代表また防災がテーマの時には消防署職員が参加している。状況報告、活動報告を行い意見交換をしている。近くの保育園へのあいさつ回りを勧めて下さり、それを機に交流が持てるようになった。地域の行事のお知らせや火災発生時の避難ルートなどを一緒に考えてもらっている。		
6	南	(5) ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議では市役所職員へ状況報告を行っている。また、研修の情報提供や市の補助制度について相談をしている。認定調査の際に地域包括の職員と情報交換をしている。地域包括の方から勉強会のお話をいただいたりしている。	市担当課とは、運営推進会議の他、電話や出向くなどして、事業所の状況報告や不明点の相談をし、制度や研修等の情報提供を得ている。地域包括支援センターとは、合同研修会についての提案や情報提供があるなど協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	北	(5) ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議では市役所職員へ状況報告を行っている。また、研修の情報提供や市の補助制度について相談をしている。認定調査の際に地域包括の職員と情報交換をしている。地域包括の方から勉強会のお話をいただいたりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	南	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し方針を決めている。また、勉強会では事例を通して拘束について考えてもらっている。接遇研修では言葉使いについて指導しスピーチロックにならないように取り組んでいる。	マニュアルがあり、法人内研修や内部研修を実施し、職員は身体拘束の内容や弊害について理解し、拘束をしないケアに取り組んでいる。日常の言葉づかいについては特に気をつけている。	
7	北	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し方針を決めている。また、勉強会では事例を通して拘束について考えてもらっている。接遇研修では言葉使いについて指導しスピーチロックにならないように取り組んでいる。		
8	南	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成しており法律を含めて虐待について学ぶ機会を設けている。身体的拘束と合わせて接遇や事例検討で虐待について考えてもらっている。また、職員間でも不適切な声かけや対応が行われていないか注意をし合っている。		
8	北	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成しており法律を含めて虐待について学ぶ機会を設けている。身体的拘束と合わせて接遇や事例検討で虐待について考えてもらっている。また、職員間でも不適切な声かけや対応が行われていないか注意をし合っている。		
9	南	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会で学ぶ機会を設けている。現在、制度を利用している方はおられないが必要に応じて支援ができるようにしている。		
9	北	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会で学ぶ機会を設けている。現在、制度を利用している方はおられないが必要に応じて支援ができるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	南	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には時間をかけて重要事項説明書及び契約書の説明を行い、その都度質問を受けながら入居に対しての不安や疑問にお答えしている。重要事項の改定前には文書でお知らせし事前に理解がいただけるようにしている。また、退居の際も不安な点があれば相談員に対応してもらっている。		
10	北	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には時間をかけて重要事項説明書及び契約書の説明を行い、その都度質問を受けながら入居に対しての不安や疑問にお答えしている。重要事項の改定前には文書でお知らせし事前に理解がいただけるようにしている。また、退居の際も不安な点があれば相談員に対応してもらっている。		
11	南	(7) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	要望相談窓口を設けており、重要事項説明書に明記、また玄関に掲示している。年に2回予定のアンケートでご家族から意見をいただき、咲花メールで内容、回答を公表している。また、面会時にはお茶をお出しし世間話から要望までお話ししやすい雰囲気作りに努め要望が出た際は連絡帳にて全員に回覧し管理者はすぐに対応がとれるように会議等で検討している。	相談や苦情の受付担当者、外部機関、第三者委員を明示し、苦情処理手順を入居時に説明している。運営推進会議時、年3回の家族会、面会時に要望や意見を聞く他、年2回のアンケートを実施し、出た意見や要望の回答を事業所便りで公表している。職員専用の連絡ノートで意見や要望を確認し、対応するなど、運営に反映させている。	
11	北	(7) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	要望相談窓口を設けており、重要事項説明書に明記、また玄関に掲示している。年に2回予定のアンケートでご家族から意見をいただき、咲花メールで内容、回答を公表している。また、面会時にはお茶をお出しし世間話から要望までお話ししやすい雰囲気作りに努め要望が出た際は連絡帳にて全員に回覧し管理者はすぐに対応がとれるように会議等で検討している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回のユニット会議、月1回の合同会議を開催し意見が出せる機会を設けている。意見はすぐに取り上げ運営に反映させている。風呂蓋やコート掛けの購入に至っている。	ユニット会議や合同会議の場で直接意見を聞く機会を設ける他、日頃から職員が気軽に意見や提案を言えるよう雰囲気作りに努めている。安全や快適に配慮した施設設備の改善や職員の家族状況に配慮した勤務体制、スキルアップのための研修参加の機会の提供や資格取得のための勤務変更など、意見を運営に反映させている。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回のユニット会議、月1回の合同会議を開催し意見が出せる機会を設けている。意見はすぐに取り上げ運営に反映させている。与薬チェック表の見直しや手指消毒スプレーの購入に至っている。		
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務、公休希望はなるべく取り入れてシフトを組むように配慮している。能力や資格に応じた手当もある。職員一人一人に係や月リーダーとなってもらい責任を持つことで自信や向上心につなげている。月リーダーは月に1回ユニット目標を決め実践することでケアの質向上に向けて取り組んでいる。休憩時間を設け、ストレスをため込まず働けるようにしている。		
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務、公休希望はなるべく取り入れてシフトを組むように配慮している。能力や資格に応じた手当もある。職員一人一人に係や月リーダーとなってもらい責任を持つことで自信や向上心につなげている。月リーダーは月に1回ユニット目標を決め実践することでケアの質向上に向けて取り組んでいる。休憩時間を設け、ストレスをため込まず働けるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	南	(9) ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修をはじめ、新任研修、月2回の法人基礎研修、月1回のGH勉強会を実施している。また、外部研修にも参加しており、参加者はレポートを提出し全員に回覧し、知識や技術の向上につながっている。また、新人職員に対してはベテランスタッフが付き介護技術等を働きながら教えられるようにしている。	外部研修は職員の経験年数や習熟度に応じて勤務の一環として受講の機会を提供し、受講後は全職員が共有できるよう復命研修をしている。月2回の法人研修や月1回の内部研修、マニュアルに基づく新人研修、資格取得のための配慮等、職員が働きながら学べるように支援している。新人職員はOJTで、具体的指導に取り組んでいる。	
14	北	(9) ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修をはじめ、新任研修、月2回の法人基礎研修、月1回のGH勉強会を実施している。基礎研修はポイント制になっており、ボーナスに反映されるようになっている。また、外部研修にも参加しており、参加者はレポートを提出し全員に回覧し、知識や技術の向上につながっている。また、新人職員に対してはベテランスタッフが付き介護技術等を働きながら教えられるようにしている。		
15	南	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修やグループホーム連絡会の会合に参加している。お互いの情報や意見交換を行うことでサービスの質の向上に取り組んでいる。		
15	北	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修やグループホーム連絡会の会合に参加している。お互いの情報や意見交換を行うことでサービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16	南	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談や見学の機会を設けている。その際に、本人の不安や要望をお聴きしお話をすることで安心していただけるように努めている。		
16	北	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談や見学の機会を設けている。その際に、本人の不安や要望をお聴きしお話をすることで安心していただけるように努めている。		
17	南	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設サービスの問い合わせには法人相談員が丁寧に対応しており、契約時には時間をかけてお話し、ご家族の不安や要望をお聴きしている。		
17	北	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設サービスの問い合わせには法人相談員が丁寧に対応しており、契約時には時間をかけてお話し、ご家族の不安や要望をお聴きしている。		
18	南	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族がまず何を必要とされているのかをケアマネ、管理者が連携をとり生活の場としてグループホームが良いのか、どのような支援が必要なのか他のサービス利用を含めた相談を行っている。		
18	北	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族がまず何を必要とされているのかをケアマネ、管理者が連携をとり生活の場としてグループホームが良いのか、どのような支援が必要なのか他のサービス利用を含めた相談を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	南	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の様々な場面で一緒に行動を共にしている。かき餅の作り方や、巻き寿司の巻き方、お花の名前、礼儀など人生の先輩として教わるが多々ある。一緒にご飯を作ったり、掃除をしたり感謝の気持ちをお伝えしながら暮らしている。		
19	北	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の様々な場面で一緒に行動を共にしている。かき餅の作り方や、巻き寿司の巻き方、お花の名前、礼儀など人生の先輩として教わるが多々ある。一緒にご飯を作ったり、掃除をしたり感謝の気持ちをお伝えしながら暮らしている。		
20	南	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診の支援や衣替えなどご家族にお願いしている。毎日のように面会に来られる方もあり車いすで散歩に行かれたり、ご自宅までドライブに行かれる方もおられる。また、不穏時の対応などスタッフと一緒に考えていただいている。毎月、利用料請求書郵送の際に写真や事業所便りを同封し、事業所での生活をお知らせしている。		
20	北	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会や行事にお呼びしている。遠方のご家族も定期的に面会に来られ買い物等にお連れしていただいている。また、なかなか面会に来られない方もお手紙で日ごろの様子をお伝えしたり電話で要望をお聞きしたりしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの友人が訪ねてこられる事も多くある。商店街や地域行事には地元のご友人と遭遇されることも多くお互いが懐かしまれている。	家族の面会、友人や知人の来訪がある他、家族の協力を得て友人宅への訪問や、法事や墓参りのための帰宅、外泊の支援をしている。馴染みの美容院の利用や商店での買い物、地元の行事に参加して知人に会ったり、以前住んでいた場所に出向いたり、電話や手紙の支援など、馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの友人が訪ねてこられる事も多くある。商店街や地域行事には地元のご友人と遭遇されることも多くお互いが懐かしまれている。ご家族に協力していただき友人に会いに行かれる方もいらっしゃる。		
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングの席は相性を考えて決めている。また、コミュニケーションがとりづらい方の中にはスタッフが入り話を取り持つこともある。体調不良の方のお部屋にお見舞いに行かれたり、他の車いすに移る場面で助けて下さる方もいらっしゃる。互いに気遣う場面が多くある。		
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングの席は相性を考えて決めている。また、コミュニケーションがとりづらい方の中にはスタッフが入り話を取り持つこともある。体調不良の方のお部屋にお見舞いに行かれたり、他の車いすに移る場面で助けて下さる方もいらっしゃる。互いに気遣う場面が多くある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	南	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後は思い出アルバムを作成しお渡ししている。入院された後も法人の相談員が病院関係者と連絡を取り合い退院後の相談支援を行っている。法人内の施設に行かれた方に会いに行ったり、リハビリを終えられ再入居された方もおられる。		
23	北	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後は思い出アルバムを作成しお渡ししている。入院された後も法人の相談員が病院関係者と連絡を取り合い退院後の相談支援を行っている。法人内の施設に行かれた方に会いに行ったり、リハビリを終えられ再入居された方もおられる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	南	(11) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で意向や想いにつながる言葉があればケース記録に記入し想いに添えるように努めている。記録は紫のマーカーを引きケアプラン変更時期に再度見直しを行っている。また、困難な場合は表情や態度で把握するように努めている。	寄り添い表を活用し、本人の趣味や嗜好、生活歴を記入する他、日常の関わりの中で汲み取った思いや意向を「つぶやきシート」に記録し、思いや意向の把握に努めている。	
24	北	(11) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で意向や想いにつながる言葉があればケース記録に記入し想いに添えるように努めている。記録は紫のマーカーを引きケアプラン変更時期に再度見直しを行っている。言語でのコミュニケーションが困難な方にはジェスチャーを使用したり、場面ごとの表情で意向の確認をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25	南	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	寄り添い表を作成し、入居時に聴き取りをしている。また、ご家族から聞く話や会話の中で新しい情報があれば随時追記し今までの生活を把握できるように努めている。		
25	北	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	寄り添い表を作成し、入居時に聴き取りをしている。また、ご家族から聞く話や会話の中で新しい情報があれば随時追記し今までの生活を把握できるように努めている。		
26	南	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録に1日の様子を記録している。3カ月に1回のケアプラン見直し時期には再度アセスメントを行い心身の状態変化を把握するようにしている。また、個人連絡帳には体調変化や生活の変化を随時記入しており、職員全員が確認把握できるようにしている。		
26	北	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録に1日の様子を記録している。3カ月に1回のケアプラン見直し時期には再度アセスメントを行い心身の状態変化を把握するようにしている。また、個人連絡帳には体調変化や生活の変化を随時記入しており、職員全員が確認把握できるようにしている。		
27	南	(12) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランは3カ月に1回の見直し時期を設けその都度ご家族、本人の要望をお聴きし、プランに反映できるようにしている。遠方のご家族には電話でご要望をお聴きしている。また、状態変化があった場合は随時プランの見直しを行っている。	3ヶ月毎にモニタリングを行い、ケアカンファレンスを月1回行っている。主治医や訪問看護師、家族の意見を参考にして3ヶ月毎に職員全員で介護計画の見直しを行っている。利用者の状態に変化があればその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	
27	北	(12) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランは3カ月に1回の見直し時期を設けその都度ご家族、本人の要望をお聴きし、プランに反映できるようにしている。遠方のご家族には電話でご要望をお聴きしている。また、状態変化があった場合は随時プランの見直しを行っている。必要に応じて看護師と話し合いを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28	南	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの様子はケース記録に記入している。本人、ご家族の要望が分かるように色分けをしており、3か月に1回のケアプラン見直し時期に活かしている。個人連絡帳にも気づきや変化を記入し統一した対応ができるようにしている。		
28	北	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの様子はケース記録や個人ノート、生活の記録ファイルに記入し職員間で情報を共有している。ケース記録は、本人とご家族の要望が分かるように色分けをしており、3か月に1回のケアプラン見直し時期に活かしている。個人連絡帳にも気づきや変化を記入し統一した対応ができるようにしている。		
29	南	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方に住まれているご家族の代わりに受診の付き添いをしている。住み慣れた地区へドライブへ行ったりしている。協力医療機関との連携で24時間オンコール体制で看護師、医師との連絡相談ができるようになっている。		
29	北	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方に住まれているご家族の代わりに受診の付き添いをしている。住み慣れた地区へドライブへ行ったりしている。協力医療機関との連携で24時間オンコール体制で看護師、医師との連絡相談ができるようになっている。		
30	南	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会長に杵と臼をお借りして一緒に餅つき大会を行った。また、商店街の八百屋さんは固くて利用者様が切る時に大変だろうからと固い野菜を小さく切って売って下さっている。		
30	北	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会長に杵と臼をお借りして一緒に餅つき大会を行った。また、商店街の八百屋さんは固くて利用者様が切る時に大変だろうからと固い野菜を小さく切って売って下さっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の選択は自由だが、現在全員が協力医療機関にかかっている。耳鼻科や皮膚科に関しては今までのかかりつけ医にお連れしたり付き添いをご家族にお願いしている。	利用者や家族の納得の上で事業所の協力医療機関がかかりつけ医となっている。月1回の受診や往診の対応、他の医療機関の受診は原則として家族の対応となっているが、家族の都合がつかない時には、事業所が対応し、適切な医療を受けられるよう支援している。経過観察が必要な場合や処置のある場合は訪問看護師が対応している。	
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の選択は自由だが、現在全員が協力医療機関にかかっている。耳鼻科や皮膚科に関しては今までのかかりつけ医にお連れしたり付き添いをご家族にお願いしている。		
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を受けている。介護職はバイタルや気になる点を一覧表にまとめ看護師のアドバイスをもらっている。必要があれば看護師を通して医師に報告し受診ができるようになっている。特変時はその都度連絡相談ができるようになっている。		
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を受けている。介護職はバイタルや気になる点を一覧表にまとめ看護師のアドバイスをもらっている。必要があれば看護師を通して医師に報告し受診ができるようになっている。特変時はその都度連絡相談ができるようになっている。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを作成して職員も病院側に情報提供をしている。相談員を通して主治医やご家族と相談し、認知症が進行しないように早期退院に心がけている。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを作成して職員も病院側に情報提供をしている。相談員を通して主治医やご家族と相談し、認知症が進行しないように早期退院に心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化及び看取りの指針を作成している。契約時には説明と指針をお渡しして同意を得ている。看取りの事例はないが体調不良の都度ご家族と医師を交えて今後の対応の話し合いを行っている。	指針があり、入居時に本人や家族に説明して、同意を得ている。重度化した場合は、早い段階から家族や医師等と話し合い、今後の対応を検討している。	
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化及び看取りの指針を作成している。契約時には説明と指針をお渡しして同意を得ている。看取りの事例はないが体調不良の都度ご家族と医師を交えて今後の対応の話し合いを行っている。		
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	マニュアルを作成しており基礎研修やGH勉強会では急変や事故発生時の対応、事故防止について学んでいる。また、事故が発生した場合はすぐに報告書を提出し対策を考え事故防止に努めている。定期的にインシデント検討会を行っている。	「ヒヤリハット、事故報告書」に発生原因、状況、発生時その場にいる職員が再発防止策を記録し、全職員に供覧して、3ヶ月に1回のインシデント検討会で協議し、一人ひとりの事故防止に努めている。研修計画に基づいて看護師による救急救命法や骨折、出血、誤嚥、転倒の応急手当の研修を実施し、技術の習得に向けて取り組んでいる。	・全職員が実践力を身につけるための応急手当や初期対応の定期的訓練の実施
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	マニュアルを作成しており基礎研修やGH勉強会では急変や事故発生時の対応、事故防止について学んでいる。また、事故が発生した場合はすぐに報告書を提出し対策を考え事故防止に努めている。定期的にインシデント検討会を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害時対応マニュアルを作成しており、グループホーム勉強会では防災設備の場所や使用方法等を学び、図面を用いて火災発生時の避難ルートを皆で考えている。夜間想定避難訓練、消火訓練を行っている。	マニュアルがあり、勉強会を実施して、火災を想定したシュミレーションをしている。年2回、夜間の火災を想定した法人の避難訓練、消火訓練に参加している。風水害も含め、災害時の地域との協力体制について運営推進会議で話し合っている。	・地域との協力体制の構築
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害時対応マニュアルを作成しており、グループホーム勉強会では防災設備の場所や使用方法等を学び、図面を用いて火災発生時の避難ルートを皆で考えている。夜間想定避難訓練、消火訓練を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬の念を持って利用者様と向き合っている。接する態度や話し方は接遇研修で学んでいる。排泄介助や入浴介助などプライバシーが露わになる場面では特に気を付けタオルで隠したりむやみな会話は行わないようにしている。	マニュアルを基に事業所独自の研修を実施し、利用者一人ひとりの尊厳を大切に、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。不適切な対応があれば管理者が指導している。	
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬の念を持って利用者様と向き合っている。接する態度や話し方は接遇研修で学んでいる。トイレ誘導も散歩のついでなどさりげなく行っている。居室やトイレなどに入る前は必ずノックをして入るようにしている。排泄の失敗やできない事に対してはさりげなく手を差し伸べて尊厳が傷つかないように配慮している。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	色んな場面(食事・入浴・行事)で選択ができる声かけを行っている。言葉で表現できない方は表情や態度で想いをくみ取っている。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	色んな場面(食事・入浴・行事)で選択ができる声かけを行っている。言葉で表現できない方は表情や態度で想いをくみ取っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39	南	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩に行きたいと言われればなるべくその時にお連れしている。毎日の日課もその都度希望をお聞きし本人のペースで過ごしていただいている。		
39	北	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩に行きたいと言われればなるべくその時にお連れしている。声かけも強制的にならないようにし、場面ごとに選択ができる声かけを行っている。		
40	南	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	今まで着てこられた服を持ってきていただきご自分で服を選んで着ていただいている。髪のはねやシャツの乱れはさりげなく整えている。美容師をされていた方は毎月移動美容室を楽しみにされており希望の髪型にセットしてもらっている。		
40	北	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回の移動美容室では、本人の希望に合わせてパーマや毛染めをしていただいている。朝や出かける前は一緒に服を選んだり、髭剃りのお手伝いもしている。お手持ちの化粧品で毎日お化粧をされる方もおられる。		
41	南	(18) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食と夕食はスタッフと利用者様で協力しながら作っている。冷蔵庫を見られ献立を考えて下さる方もいらっしゃる。畑で採れた野菜が食卓にあがることもある。季節のおやつ作りや漬物作りを計画し食べごろを楽しみにされている。	法人の厨房からの配食を利用している。利用者はメニュー表を書いたり、食卓を拭いたり、汁物や菜園で採れた野菜を使った一品をつくったり、味見、盛り付け、下膳などできることを職員と一緒にしている。おやつ作り、らっきょ漬、梅干しづくり、コロッケづくりの他、花見弁当を作って野外で食べたり、外食に出かけるなど工夫して、食事が楽しみなものになるよう支援している。	
41	北	(18) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事やおやつの時間は職員も一緒に座りお話を楽しんでいる。食事の盛り付けは一緒に行い、男性の方も積極的にされている。給食センターで働いておられた方には味付けのアドバイスをしてもらっている。季節のおやつ作りや漬物作りを計画し食べごろを楽しみにされている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42	南	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活の記録ファイルで食事量の把握をしている。水分量は一杯120ccを目安に正の字でチェックし1日の水分摂取量の把握をしている。体調不良の方や水分量が少ない方は細かくチェックし必要があれば医師に相談している。食事量の少ない方には食事以外にも好きなものをお出ししている。		
42	北	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活の記録ファイルで食事量の把握をしている。水分量は一杯120ccを目安に正の字でチェックし1日の水分摂取量の把握をしている。咀嚼・嚥下が気になる方は食べやすい大きさにカットしたり水分にはとろみをつけてお出ししている。体調不良時は卵粥を用意して無理なく食事と栄養が摂れるように支援している。		
43	南	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入眠前はその方に応じた口腔ケアの支援を行い誤嚥性肺炎の予防に努めている。会話の時にさりげなく汚れや臭いを確認して口腔ケアの見直しを行うようにしている。また、毎週火曜日は歯科医等による口腔ケアがあり義歯の洗浄や口腔状態の確認、顔面マッサージなどを行っている。		
43	北	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入眠前はその方に応じた口腔ケアの支援を行い誤嚥性肺炎の予防に努めている。ブラッシングが困難な方には棒付のスポンジで口腔ケアを行っている。また、毎週火曜日は歯科医等による口腔ケアがあり義歯の洗浄や口腔状態の確認、顔面マッサージなどを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	(19) 南	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居時は排泄チェック表を用意しその方の排泄パターンを把握するようにしている。個人に合わせてトイレ誘導の時間を決めトイレでの排泄ができるように支援している。汚れたパンツをダンスになおされる方には蓋付バケツを居室に用意しご自分で着替えができるようにしている。	利用者の排泄パターンを把握して、見守り、言葉かけに配慮した排泄支援を行っている。トイレでの排泄を基本とし、夜間でもトイレでの排泄支援に努め、自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44	(19) 北	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居時は排泄チェック表を用意しその方の排泄パターンを把握するようにしている。個人に合わせてトイレ誘導の時間を決めトイレでの排泄ができるように支援している。急にうろうろされたり、おならが出たり、その方の排泄サインを把握しタイミングよくトイレ誘導ができるようにしている。		
45	南	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲み物にはオリゴ糖を使用したり、運動もかねて散歩も行っている。介助が必要な方でも便座に座っていただきマッサージをするなどしてトイレでの排泄を促している。排便チェック表で有無を確認できるようにし便秘の早期発見に努めている。		
45	北	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲み物にはオリゴ糖を使用したり、起床時の冷水や寒天を入れたご飯をお出ししたり、運動もかねて散歩も行っている。介助が必要な方でも便座に座っていただきマッサージをするなどしてトイレでの排泄を促している。排便チェック表で有無を確認できるようにし便秘の早期発見に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	南	(20) ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日14時から時間を設けており本人の希望に沿いながら入っていただいている。冬至の日にはゆず風呂に入っていた。体調不良の時には状態に応じて、清拭、足浴、手浴を行っている。	入浴時間は14時から21時の間とし、希望すれば毎日でも入浴できる。安全に配慮して、本人の希望を聞きながら、のんびりと入浴できるよう支援している。入浴をしたくない場合は無理強いせず、職員を交代したり、声かけに工夫しタイミングを見て支援している。清拭、足浴、シャワー浴、時には柚子を入れて季節感を味わってもらするなど、入浴を楽しむことができる支援をしている。	
46	北	(20) ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日14時から時間を設けており本人の希望に沿いながら入っていただいている。冬至の日にはゆず風呂に入っていた。拒否のある方は受診やシーツ交換の後にさりげなくお誘いしたりしている。		
47	南	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝寝がお好きな方にはゆっくりしていただいている。空調管理はこまめに行い、心地よい空間で休んでいただけるようにしている。リビングでもソファでゆっくり休息できるようにひざ掛けを用意している。体調不良の方の居室には加湿器を置き、健康面にも配慮している。		
47	北	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝寝がお好きな方にはゆっくりしていただいている。空調管理はこまめに行い、心地よい空間で休んでいただけるようにしている。リビングでもソファでゆっくり休息できるようにひざ掛けを用意している。お家で湯たんぽを使用されていた方には安全に使用して頂けるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48	南	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	生活の記録ファイルに薬情をとじ目的や副作用が把握できるようになっている。変更等があった場合は連絡帳に記入し全員が確認している。与薬マニュアルに従い声を出して確認するなど誤薬防止に努めている。状態変化があれば看護師を通して医師に相談するようにしている。		
48	北	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	生活の記録ファイルに薬情をとじ目的や副作用が把握できるようになっている。変更等があった場合は連絡帳に記入し全員が確認している。与薬マニュアルに従い声を出して確認するなど誤薬防止に努めている。状態変化があれば看護師を通して医師に相談するようにしている。		
49	(21) 南	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今まで仕事で書き物をされていた方には毎日献立表を書いていただいたり、料理をふるまうのが好きな方には調理をしていただいている。水彩画を趣味にされている方にはスケッチブックと題材を用意し誕生日会の色紙作成をお願いしている。おやつ飲み物は今まで飲まれていたものをご家族に用意していただきお出ししている。	利用者が発案し、設立した自主サークル活動(体操の会、歩こう会、歌の会、生け花の会)を利用者同士で声をかけあい、楽しんでいる。俳句、俳画、習字、水彩画、洗濯物たたみ、おやつ作り、漬物作り、家計簿の記帳、読書などの活躍できる場面づくりや、中庭でのビアガーデン、ボランティアとお茶会、地元行事への参加などの楽しみごとの支援をしている。	
49	(21) 北	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	俳句の本を出されていた方には、誕生日会や季節行事に一句詠んでいただいたり、ご主人が車の仕事をされていた方と駐車場へ散歩に行き車の名前を教えてください、囲碁が得意な方はスタッフと対戦したり、給食センターで働かれていた方には味付けや調理方法を教わっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	南	(22) ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は近所や近くの神社へ散歩に行っている。ご家族と一緒に1泊旅行に行かれた方もいらっしゃる。外出行事では馴染みの場所へ出かけられるように配慮している。ご主人様と一緒に散歩やドライブ行かれる方もおられる。	周辺の散歩や買い物、地元の祭り、季節の花見(菖蒲、紫陽花、コスモス、バラ、紅葉等)やドライブなどの他、家族の協力を得て、外食や一泊旅行に行くなど、利用者の希望にそった外出支援をしている。	
50	北	(22) ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は近所や近くの神社へ散歩に行っている。ご家族と一緒に1泊旅行に行かれた方もいらっしゃる。外出行事では馴染みの土地へ出かけられるように配慮している。ご家族と友人にあいさつ回りに行かれたり、近くに親戚がおられる方と散歩がてら会いに行ったりしている。		
51	南	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望のある方はご自分でお財布を持っていたき、売店や買い物の時にご自分で支払いをされている。		
51	北	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望のある方はご自分でお財布を持っていたき、週1回のパンの移動販売や売店や買い物の時にご自分で支払いをされている。		
52	南	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば公衆電話にお連れして本人に電話をかけていただいたりかかってきた電話に出ていただいてご家族とお話しされている方もおられる。お正月には年賀状を書かれた方もおられる。		
52	北	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば公衆電話にお連れして本人に電話をかけていただいたりかかってきた電話に出ていただいてご家族とお話しされている方もおられる。お正月には年賀状を書かれた方もおられる。携帯電話を持たれている方もいらっしゃる。入院中のご主人に手紙を書かれご家族に渡される方もいらっしゃる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
南	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビング、廊下には季節のお花を生けている。たくさんある窓からは朝日や夕日を眺めることができ、気候の良いときには中庭の全面オープン窓を開け心地よい風を感じていただいている。掃除も毎日行い、トイレの臭いや汚れが放置されないようにしている。	玄関には利用者が生けた季節の花を飾り、リビングは広く明るく、壁には額絵や利用者が描いた水彩画を飾り、落ち着いた安らぎのある空間となっている。テレビの前や広い廊下にはソファや椅子、応接セットを配置し、利用者が思い思いの場所で過ごせるよう工夫している。両ユニットの中央には広い中庭があり、全開できる窓は開放感を感じることができる。トイレ、洗面所、浴室は清潔で、整頓しており、室温、換気に配慮し、居心地良く過ごせるよう工夫している。	
			53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている
南		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下には座れるソファを置き気の合う方とおしゃべりを楽しまれている方もおられる。また、廊下には一人掛け椅子もありコーヒーを飲みながら夕日を見たり景色を眺められたり思い思いに過ごされている。		
北		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下には座れるソファを置き気の合う方とおしゃべりを楽しまれている方もおられる。また、一人掛けのソファで読書を楽しまれたり、天気の良い日は日向ぼっこをされている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55	南	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に、お部屋づくりのお話をして新しいものではなく家で使い慣れたダンスや鏡台を持ってきていただいている。趣味の水彩画などの作品を飾っておられる方もいらっしゃる。	屏風、鏡台、和ダンス、テレビ、時計、小卓、ぬいぐるみ、衣類、洗面用具、本、椅子、カーペットなど使い慣れた物が持ち込んであり、家族写真や自作の書画や掛け軸、さげもん、絵画など好みの物を飾り、その人らしく居心地良く過ごせるような工夫をしている。	
55	北	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に、お部屋づくりのお話をして新しいものではなく家で使い慣れたダンスや鏡台を持ってきていただいている。曾孫や亡くなられた奥様の写真を飾っておられる方もいる。		
56	南	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事業所内は全てバリアフリーとなっている。広い廊下には手すりがあり安全に歩行ができるようになっており、トイレにはその方の能力に合わせて使用ができる介助バーが設置されている。また、トイレやお風呂の表示は高さや大きさや読み方を工夫し分かりやすくしている。中庭では洗濯物が干せるようになっていない。		
56	北	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事業所内は全てバリアフリーとなっている。広い廊下には手すりがあり安全に歩行ができるようになっており、トイレにはその方の能力に合わせて使用ができる介助バーが設置されている。また、トイレやお風呂の表示は高さや大きさや読み方を工夫し分かりやすくしている。中庭では洗濯物が干せるようになっていない。		

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム咲花

作成日: 平成 24年 10月 19日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	全職員が実践力を身に付けるための応急手当や初期対応の定期的訓練の実施が必要である。	応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、全ての職員が実践力を身に付けることが出来る。	法人で応急手当推進委員会を立ち上げ、委員が各事業所のリーダー、看護師に講習、訓練を行い、さらに各事業所一人一人にリーダーが講習、訓練を行う。どの講習をいつ受けたかが分かるように一覧表を作成し、講習もれのないように徹底する。グループホーム勉強会でも随時訓練を行い、月2回ある法人の研究会でも緊急時の対応の講習、実技を行う。また、月2回のユニットミーティングでも実技訓練を定期的に行う。	1年
2	36	災害における地域との協力体制が不十分である。	災害における地域の協力体制が出来る。	運営推進会議の参加者(近隣の自治会長、民生委員、家族の代表、市の担当職員等の方々)に防災についての意見いただき、実際に施設の避難訓練に参加していただく。	2年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。